

パッケージ内容

外観

1. プロジェクター
2. リモコン
- 3.LED インジケーター

はじめに

1. プロジェクターの準備
2. 電源に接続します
3. 電源のオン / オフ
4. リモコンのセットアップ
5. リモコンとプロジェクターのペアリング
6. オートフォーカスおよび自動台形補正

Nebula Connect アプリ

設定

- 1.Wi-Fi ネットワーク
2. プロジェクター
3. アプリ
4. システム
5. その他

本製品の使用方法

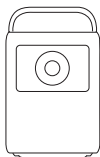
1. アプリの選択
2. 音声アシスタント
3. ワイヤレス画面ミラーリング
- 4.HDMI / USB 機器から再生する
- 5.Bluetooth スピーカーモード
6. プロジェクターを外部 Bluetooth スピーカーに接続する

システムの更新

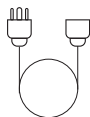
トラブルシューティング

商標

パッケージ内容



①



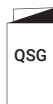
②



③



④



⑤

① NEBULA Cosmos 4K SE

② 電源ケーブル

※ AC アダプタの形状は地域によって異なります。

③ リモコン

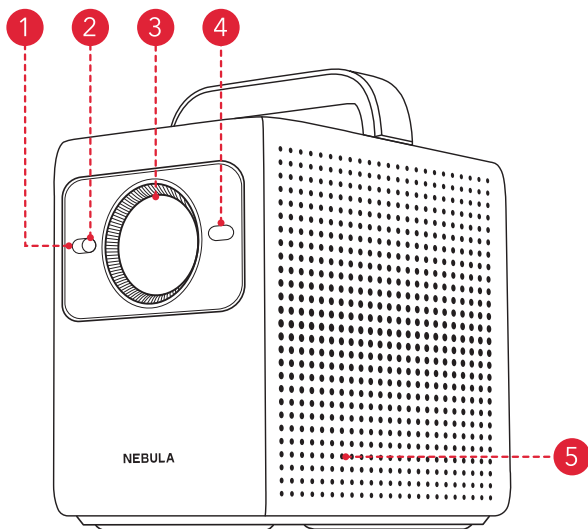
④ 単 4 形乾電池

⑤ クイックスタートガイド

外観

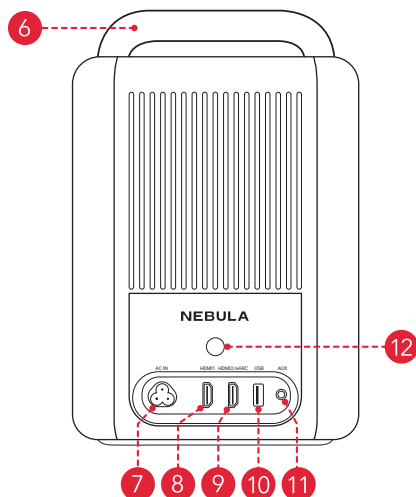
1. プロジェクター

正面図



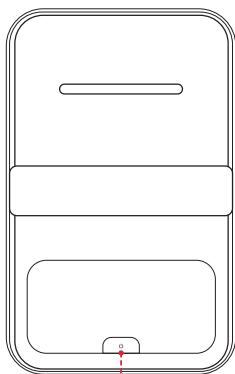
- ① 照度センサー
- ② イメージセンサー
- ③ レンズ
- ④ ToF センサー
- ⑤ スピーカー

背面図



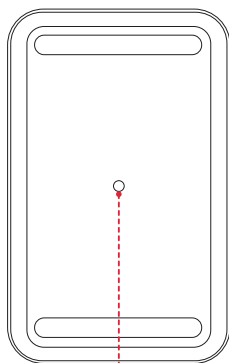
- ⑥ ハンドル
- ⑦ AC 入力ポート
 - ・ 電源に接続します。
- ⑧ HDMI 1 ポート
 - ・ HDMI 出力を持つ再生機器に接続します。
- ⑨ HDMI 2 / eARC ポート
 - ・ HDMI 出力を持つ再生機器に接続し、音声出力をします。
- ⑩ USB-A ポート
 - ・ USB ドライブに接続します
- ⑪ AUX 端子
 - ・ ヘッドホンまたは外付けスピーカーに接続します
- ⑫ 赤外線レシーバー
 - ・ リモコンからの赤外線制御信号を受信します。

上面図と底面図



13

13 電源ボタン

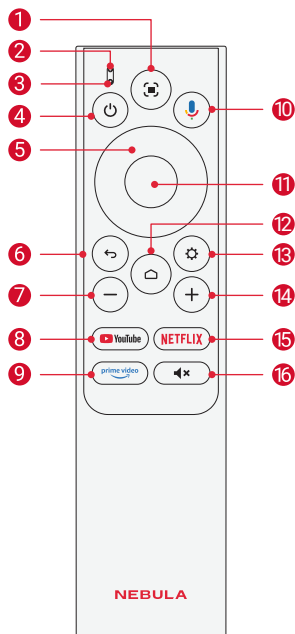


14

14 三脚用ソケット

- 三脚ソケットは、三脚、スタンド、天井マウントなどを接続するために使用できます。

2. リモコン



- | | |
|---------------------------|--------------------|
| ① オートフォーカス | ⑨ Prime Video を開く |
| ② ステータスインジケータ | ⑩ Google アシスタントの起動 |
| ③ マイク | ⑪ 決定 / 一時停止 / 再開 |
| ④ 電源のオン / オフ / スタンバイの切り替え | ⑫ ホーム画面 |
| ⑤ ナビゲーション | ⑬ その他オプションの表示 |
| ⑥ 戻るボタン | ⑭ 音量アップ |
| ⑦ 音量ダウン | ⑮ Netflix を開く |
| ⑧ YouTube を開く | ⑯ 音声のミュート / ミュート解除 |

3.LED インジケーター

ボタン	LED インジケーター	詳細
	青色に点灯	電源がオン
	消灯	電源がオフ
	赤色に点灯	スタンバイモード

はじめに

1. プロジェクターの準備

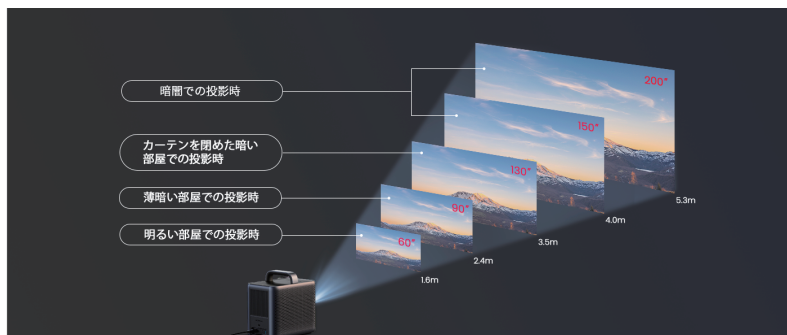
本製品は次の方法で設置できます。

- 前面：本製品を投影面の前に置きます。一般的な設置方法で、簡単に移動することができます。
- 背面：本製品を投影面の後ろに置きます。リア投影型スクリーンが必要です。
- 前面天井：本製品を投影面の前に天井から逆さまに吊り下げます。天井 / 壁取り付け用キットが必要です。
- 背面天井：本製品を投影面の後ろに天井から逆さまに吊り下げます。リア投影型スクリーンおよび天井 / 壁取り付け用キットが必要です。



- プロジェクターの電源を入れた後、[設定]>[プロジェクター]>[詳細設定]>[投影モード]で選択します。
- 本製品を投影面の角度に合わせて傾ける必要はありません。本製品は、自動フォーカスと自動台形補正機能が搭載されています。
- 本製品を三脚(別売り)に取り付けることもできます。
- 投影画像の大きさは、本製品と投影面との距離で決まります。

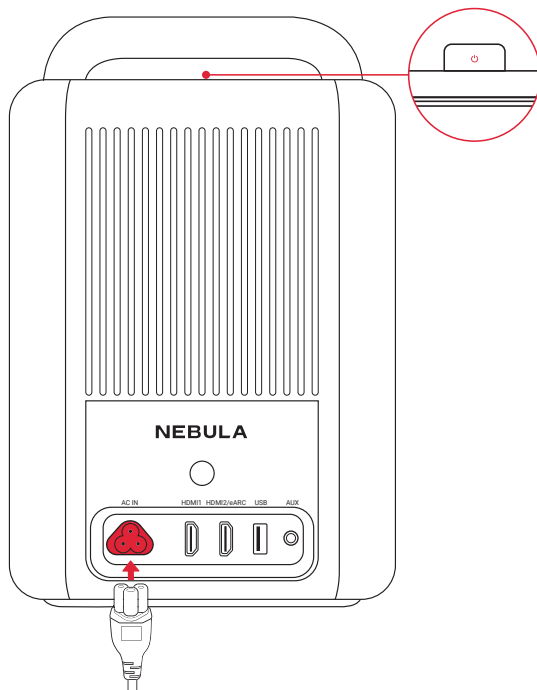
スクリーンのサイズ	投影距離
60 インチ	1.59 m
70 インチ	1.86 m
80 インチ	2.13 m
90 インチ	2.39 m
100 インチ	2.66 m
110 インチ	2.92 m
120 インチ	3.19 m
130 インチ	3.45 m
140 インチ	3.72 m
150 インチ	3.99 m
160 インチ	4.25 m
170 インチ	4.52 m
180 インチ	4.78 m
190 インチ	5.05 m
200 インチ	5.31 m



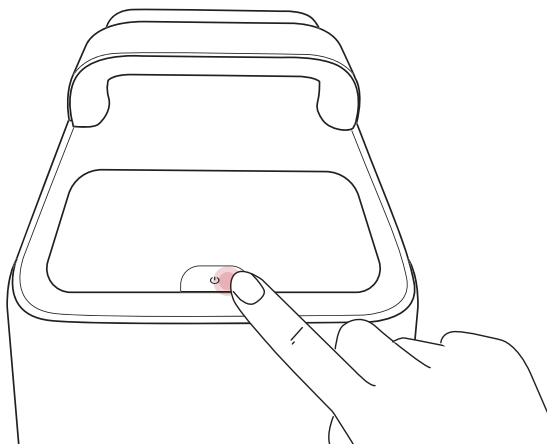
2. 電源に接続します

電源ケーブルを接続し、本製品と電源を繋ぎます。

接続すると、電源ボタンが赤色に点灯します。



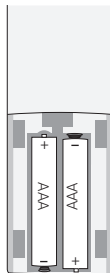
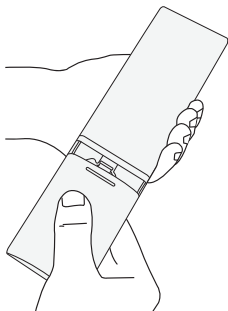
3. 電源のオン / オフ



- 電源オン : 電源ボタンを 1 回押します。
※本製品が起動すると、電源ボタンが青色に点灯します。
- 電源オフ :
Step 1: Press and hold the power button for 3 seconds (wait for on-screen prompt).
Step 2: Confirm power off with the remote control or wait 20 seconds for automatic power off.
- スタンバイモード : 電源ボタンを押すとスタンバイモードになります。

4. リモコンのセットアップ

- ① 背面の電池カバーを開けます。
- ② 単 4 形乾電池 2 本をプラス (+) とマイナス (-) が合うように入れ、カバーを閉じます。



- ③ 初めて使用する場合は、画面の指示に従ってリモコンとプロジェクターをペアリングします。

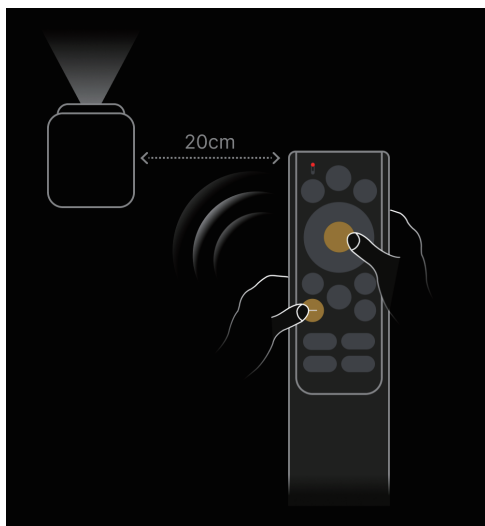


- リモコンとプロジェクターの間の距離は 10m を超えないようにしてください。

5. リモコンとプロジェクターのペアリング

プロジェクターを起動し、画面の指示に従ってリモコンとプロジェクターをペアリングします。

- ① Place the remote control within 20cm of the projector.
- ② Press and hold the confirm and volume down buttons for several seconds until the prompt of successful Bluetooth connection appears.



- Bluetooth 接続がないと、リモコンを使用して Google アシスタントを有効にできません。

6. オートフォーカスおよび自動台形補正

オートフォーカスを実行：

- リモコンの [自動画像調整] ボタンを押します。
- プロジェクターの電源がオンになった時にフォーカスを自動で調整します。
- プロジェクターを移動させた時に、フォーカスを自動で調整します。

手動フォーカス補正を実行：

[設定] > [プロジェクター] > [フォーカス設定] > [手動フォーカス補正] に移動します。

自動台形補正を実行：

自動台形補正を有効にする必要があります。([設定] > [プロジェクター] > [画像補正] > [自動台形補正の設定])。

設定が完了すると、以下の時に自動的に自動台形補正が起動します。

- リモコンの [自動画像調整] ボタンを押します。
- プロジェクターの電源がオンになった時にフォーカスを自動で調整します。
- プロジェクターを移動させた時に、フォーカスを自動で調整します。

手動台形補正を実行：

次の手順に従って、手動で台形補正を行ってください([設定] > [プロジェクター] > [画像補正] > [手動台形補正を実行])。

Nebula Connect アプリ

本製品の操作にあたっては Nebula Connect アプリをインストールすることをおすすめします。



- ① App Store (iOS 機器の場合) または Google Play (Android 機器の場合) から **Nebula Connect** アプリをダウンロードします。
- ② お使いのスマートフォンで Bluetooth を有効にし、接続するデバイスを選択します。
- ③ Nebula Connect アプリを開き、「NEBULA Cosmos 4K SE」を選択します。

画面の指示に従って、接続を完了します。

設定

本製品を初めて起動する際は、各種セットアップを完了させてください。

1.Wi-Fi ネットワーク

本製品は、ワイヤレス (Wi-Fi) 接続を使用してインターネットに接続できます。

- ① ホーム画面で、[設定] > [ネットワークとインターネット] を選択します。
- ② 画面の指示に従って、ネットワーク接続を完了させます。

2. プロジェクター

ホーム画面で、[設定] > [プロジェクター] を選択します。

[画像補正]	自動台形補正の設定 [リモコンによる自動台形補正]: リモコンで、自動台形補正を有効または無効にします。 [起動時に自動台形補正を実行]: プロジェクターの電源を入れた時、自動で台形補正を行います。 [移動後の自動台形補正]: プロジェクターを動かした時、自動で台形補正を行います。 [シームレス台形補正]: プロジェクターを動かす度に、すばやく台形補正を行います。 [自動スクリーンフィット]: 自動スクリーンフィットを有効または無効にします。 [自動障害物回避]: 自動障害物回避を有効または無効にします。 [手動台形補正を実行]: 手動で台形補正を行います。 [ワンクリック画像補正]: 投影画像の大きさが投影面に合わせて自動的に調整されます。 [ズーム]: 投影画像を 50% から 100% の間でズームインまたはズームアウトします。
[フォーカス設定]	[起動時にオートフォーカスを実行]: プロジェクターの電源がオンになった時にフォーカスを自動で調整します。 [移動後のオートフォーカス]: プロジェクターを移動させた時に、フォーカスを自動で調整します。 [手動フォーカス補正]: 手動によるフォーカスの補正を有効にします。

[詳細設定]	[アイガード]: アイガードをオンにすることで、プロジェクターが発する紫外線および強い光から目を保護することができます。 [壁色適応]: 壁色適応機能により、映像をより正確な色彩で楽しむことができます。 [投影モード]: プロジェクターの設置方法を選択します。 • [自動]: プロジェクターが反転しているかどうかを自動的に検出します。これらのオプションを自動的に切り替えます。 • [前面]: 本製品を投影面の前に置きます。 • [前面天井]: 本製品を投影面の前に天井から逆さまに吊り下げます。画像が 180°回転します。 • [背面]: 本製品を投影面の後ろに置きます。 • [背面天井]: 本製品を投影面の後ろに天井から逆さまに吊り下げます。画像が 180°回転し、左右が反転します。
	[動作設定]: センサーがオートフォーカスと自動台形補正を起動するための感度を設定します。
	[スマートソリューション]: 問題が検出された時、通知を受信します。 • [投影に関するエラー通知]: 問題が検出された時、通知を受信します。 • [手動補正に関するポップアップ]: シームレス自動台形補正後、ポップアップを表示します。 • [Nebula スマート通知]: プロジェクターのステータスが変更された時、通知を受信します。 • [レーザー保護]: 付近に障害物を検知すると、自動で明るさを抑えます。

[ディスプレイと音声]	画像 [輝度]: プロジェクターのディスプレイの明るさを調整します。 • 環境光適応: 周囲の光の状態に応じて明るさとコントラストを自動的に調整します。
	[画像モード]: 本製品にはプリセットされた画像モードがいくつか用意されているため、環境や入力ソースに合わせていくつかのモードを選択できます。 • [Nebula マスター]: 臨場感あふれる、リアルで鮮やかなビジュアルをお楽しみいただけます。 • [標準]: 暖色と寒色のバランスをとって自然な色を保ちます。 • [ビビッド]: ストリーミング配信に最適な、鮮やかな彩度になります。 • [スポーツ]: スポーツ観戦に最適な、より速い反応速度になります。 • [映画]: 映画鑑賞に最適な色を再現します。 • [ゲーム]: ビデオゲームをプレイしやすいように輝度を高め、応答時間を短くします。 • [会議]: 輝度は明るくなりますが、色の再現度が低くなる可能性があります。
	[詳細設定]: 詳細設定をカスタマイズして、画質を向上させます。 • [色温度]: 暖色と寒色を調整します。 • [DNR]: デジタルノイズを低減します。 • [MPEG NR]: 圧縮アーティファクトを低減します。 • [DI フィルムモード]: 映画のシーンの切り替えをよりスムーズにします。 • [ガンマ]: 中間色調を調整することで、明るさとコントラストも自動的に調整します。 • [MEMC]: スムーズな動きを実現します。 • [色空間]: 適切なカラースペースを選択します。 • [カラーチューナー]: 色を調整します。 • [11 ポイント ホワイトバランス補正]: より正確な色になるよう調整します。

	音声 [ムービー]: 映画観賞用にサラウンドサウンドのリスニング体験を作り出します。 [音楽]: 音楽を聴くために高音域を強調します。 [アウトドア]: 屋外でオーディオ / ビデオを再生するために音量を上げます。 [カスタム]: バランス、低音域、高音域などのオーディオ設定を手動で定義します。 [Bluetooth スピーカーモードをオンにする]: プロジェクターを Bluetooth スピーカーとして使用できるようにします。 [スピーカー遅延]: サウンドを映像と同期させるために、操作ごとにサウンドの遅延を 10 ミリ秒ずつ調整します。 [エキスパート設定]: 詳細設定をカスタマイズして、音質を向上させます。 • eARC: 音声出力をする必要がある場合は、eARC ポートに接続してください。 音声出力 [自動]: 最適なオーディオ出力モードを自動的に選択します。 [バイパス]: 接続された機器がデコードできるように、処理せずにデジタルオーディオ信号を通過させます。 [PCM]: PCM 形式でオーディオを出力します。 [Dolby Digital Plus]: ドルビーデジタルプラス形式でオーディオを出力します。 [Dolby Digital]: ドルビーデジタルフォーマットでオーディオを出力します。 [デジタル出力の遅延]: サウンドと映像を同期させるために、デジタルオーディオ出力の遅延を調整します。
--	--

3. アプリ

- ① > [**アプリ**] を選択し、##-2 を押します。
- ② 選択したアプリに対しては、現在のバージョンの確認、アプリの起動、強制停止、使用されているストレージの確認、データまたはキャッシュの消去、アプリのアンインストール、通知と使用許可の有効化または無効化を行うことができます。

4. システム

ホーム画面で、**[設定]**>**[システム]**を選択します。

[ユーザー補助]	字幕やテキスト読み上げなど、ユーザー補助に関する設定を変更できます。
[デバイス情報]	製品情報の確認やシステムの更新、本製品のリセット、本製品の名前変更を行います。
[日付と時刻]	日付と時刻の自動設定を有効 / 無効にします。日付と時刻を手動で設定するか、タイムゾーンを選択するか、時刻形式を設定します。
[言語]	画面に表示する言語を選択します。
[キーボード]	キーボードを確認および管理します。
[ストレージ]	デバイスのストレージを確認し、空き容量を増やす
[背景モード]	Google TV で写真、天気、時間を表示するように設定します。
[電源と省エネ設定]	自動スリープ設定を変更したり、電源オンの動作を選択したり、現在のディスプレイをオフにしたり、信号が利用できない時の自動電源オフの時間を設定したりします。
[システム音]	操作音のオン / オフを切り替えます。
[再起動]	システムを再起動します。

5. その他

ホーム画面で **[設定]** を選択し、その他の設定オプションを表示します。

[アカウントとログイン]	ログインして Google TV を最大限に活用します。
[プライバシー]	プライバシー設定をカスタマイズします。
[リモコンとアクセサリ]	ペアリング対象のアクセサリ (Bluetooth スピーカー、リモコンなど) を検索します。
[ヘルプとフィードバック]	プロジェクターに関するフィードバックや、その他の意見を送信します。

本製品の使用方法

1. アプリの選択

ワイヤレスネットワークに接続されると、オンラインサービスへのアクセス、動画や音楽などのコンテンツの再生、およびインターネットの利用が可能になります。GooglePlay から追加のアプリをダウンロードできます。

- ① ホーム画面アイコンを押してホーム画面にアクセスします。
- ② >[**アプリやゲームを検索**] を選択します。

2. 音声アシスタント

Bluetooth 接続でリモコンとプロジェクターをペアリングした後、リモコンの Google アシスタントボタンを使って音声で操作することができます。

3. ワイヤレス画面ミラーリング

iOS、macOS、Android、または Windows 機器から本製品にムービー、ゲーム、ミュージック、スクリーンをワイヤレスでキャストできます。

3.1 アプリ内コンテンツのキャスト

YouTube や Prime Video など、Chromecast に対応するアプリからコンテンツをキャストできます。

- ① デバイスとプロジェクターを同じワイヤレスネットワークに接続します。
- ② デバイスでストリーミングアプリを開きます。
- ③ ビデオを再生し、ビデオ画面でキャストアイコン##-1をタップします。
- ④ NEBULA Cosmos 4K SE を選択して接続します。プロジェクターは、デバイスのビデオ画面をミラーリングします。



- アプリ内コンテンツをミラーリングするには、スマートフォンとプロジェクターの両方で同じストリーミングサービスアカウントを使用している必要があります。
- コンテンツによっては、著作権上の制限により、画面ミラーリングを利用できない場合があります。同じアプリを本製品にインストールしてそのアプリからコンテンツを再生することはできます。

3.2 デバイスの画面のキャスト

デバイスの画面全体をプロジェクターにキャストできます。まずは、NEBULA Cosmos 4K SE とお使いのデバイスが同じ無線ネットワークに接続されていることを確認します。

iOS 搭載機器の場合：

1. ① プロジェクターに **Nebula Cast** アプリをインストールします。
2. ② **Nebula Cast** アプリを開き、画面の指示に従って操作を完了します。
3. ③ お使いのデバイスのコントロールセンターを開き、[**スクリーンミラーリング**] のアイコンをタップします。
4. ④ デバイス一覧から「**NEBULA Cosmos 4K SE**」をタップします。

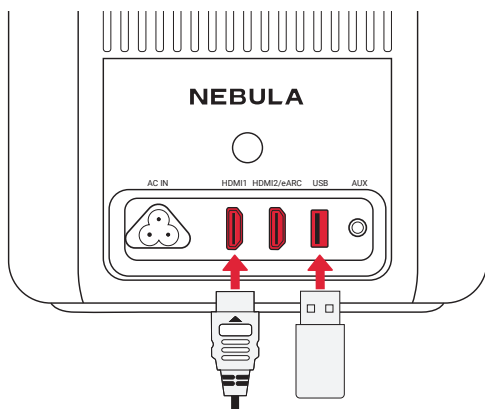
Android 搭載機器の場合：

1. ① Google Home アプリを開き、「**NEBULA Cosmos 4K SE**」を選択します。
2. ② ページ上で ##-1 をタップします。

4.HDMI / USB 機器から再生する

本製品は、TV ボックス、TV スティック、DVD プレーヤー、セットトップボックス (STB)、ゲーム機など、さまざまな HDMI 再生機器に接続することができます。

本製品では、USB ドライブ (別売り) に保存されている音楽、ビデオ、画像を再生 / 投影することができます。





音声出力をする必要がある場合は、HDMI2/eARC ポートに接続してください。

5. Bluetooth スピーカーモード

本製品は、Bluetooth スピーカーとしてご使用いただくことができます。

- ① ホーム画面で、[設定] > [ディスプレイと音声] > [音声] > [Bluetooth スピーカーモードをオンにする] を選択します。
- ② お使いのスマートフォンの Bluetooth を有効にし、「NEBULA Cosmos 4K SE」を選択して接続します。



Bluetooth スピーカー モードを終了するには、リモコンの戻るボタンを押します。

6. プロジェクターを外部 Bluetooth スピーカーに接続する

- ご使用の Bluetooth スピーカーの電源をオンにし、ペアリングモードの設定をします (手順はスピーカーによって異なるため、詳細な手順についてはご使用の Bluetooth スピーカーのマニュアルを参照してください)。
- ホーム画面で、[設定] > [リモコンとアクセサリ] > ご使用の Bluetooth スピーカー名を選択し、ペアリングします。
- ペアリングが成功すると、プロジェクターのオーディオが外部 Bluetooth スピーカーから出力されます。

他の Bluetooth アクセサリーも、上記手順でプロジェクターに接続できます。

システムの更新

本製品の最新の機能をご利用いただくには、必要に応じてファームウェアの更新を行い、システムを最新の状態にさせていただくことをお勧めします。

システムをアップデートするには、[設定] > [システム] > [デバイス情報] > [システム アップデート] に移動します。

トラブルシューティング

① 充電できない場合

- ・充電には、付属の AC アダプタと充電ケーブルを使用します。

② Wi-Fi ネットワークに接続できない場合

- ・プロジェクターを Wi-Fi ルーターから 5 m 以内に配置し、再接続します。
- ・ルーターを 2.4 GHz または 5 GHz に設定して、再試行してください。
- ・プロジェクターとルーターを再起動して、再試行してください。
- ・別の Wi-Fi ネットワークまたはスマートフォンのホットスポットをお試しください。

③ 画像がぼやけている場合

- ・フロントパネルのカメラ / TOF がブロックされていたり、汚れていないことを確認してください。
- ・プロジェクターを少し動かすか、リモコンの ##-1 を押して、オートフォーカスを起動します。
- ・フォーカスを手動で調整するには、[設定]>[プロジェクター]>[フォーカス設定]>[手動フォーカス補正]に移動し、リモコンの左右のボタンを使用します。
- ・必要に応じて、投影角度や投映方向、プロジェクターの高さを調整してください。
- ・オートフォーカスが適切に機能するには、プロジェクターとスクリーンの間の距離が 1.5 ～ 4 メートルである必要があります。

④ 自動台形補正に失敗した場合

- ・フロントパネルのカメラ / TOF がブロックされていたり、汚れていないことを確認してください。
- ・最適な自動台形補正の距離は 1.0 ～ 4.0 m、水平 $\pm 30^\circ$ @3 m/ $\pm 10^\circ$ @4 m です。

⑤ 自動画面調整に失敗した場合

- ・スクリーンが黒い枠線付きの長方形であることを確認してください。
- ・スクリーンの色が、枠線と反対色であることを確認してください。黒に近い色のスクリーンを使用しないようにしてください。

- スクリーンとプロジェクターの間の距離が 4 m 以内であることを確認してください。
- スクリーンの枠線の幅が 5 mm であることを確認してください。
- 投影された画像がスクリーン全体をカバーするようにしてください。
- スクリーンサイズが投影範囲より最低でも 10% 大きいことを確認してください。
- 中央のグリッドがスクリーン内にあり、遮られていないことを確認してください。
- **自動スクリーンフィットが失敗した場合は、[設定] > [プロジェクター] > [画像補正] > [手動台形補正を実行] から手動で台形補正を実行できます。**

⑥ アイガードに失敗した場合

- フロントパネルのカメラ / TOF がブロックされていたり、汚れていないことを確認してください。
- アイガード機能は、10 cm ～ 4 m の距離が最も効果的に機能します。
- [設定] > [プロジェクター] > [詳細設定] > [アイガード] に移動し、機能が有効になっているか確認してください。

⑦ 壁色適応に失敗した場合

- フロントパネルのカメラ / TOF がブロックされていたり、汚れていないことを確認してください。
- 明るい色の壁 (色温度 3500K ～ 15000K、色座標 0.45 以内) に投影しているか確認してください。

⑧ 「HDMI 信号なし」と表示される場合

- 別の HDMI ケーブルを使用してください。
- プロジェクターを別の HDMI 再生機器に接続し、問題が解決するか確認してください。
- HDMI 再生機器を HDMI ケーブルでテレビに接続し、機器やケーブルに不具合がないか確認してください。
- HDMI 再生機器の出力解像度 / 周波数をプロジェクターと同じになるように調整してください。

⑨ 外部スピーカーから音が出ない場合

- ・プロジェクターがミュートモードになっているか確認してください。
- ・プロジェクターの「HDMI2 / eARC」ポートまたは Bluetooth が外部オーディオデバイスに接続されているか確認してください。

⑩ マウスモードで Netflix を操作する方法

- ・スマートフォンに **Nebula Connect** をインストールして、**NEBULA Cosmos 4K SE** に接続します。アプリで「マウスモード」に切り替えます。マウスモードに切り替えると、1本の指で移動またはクリック、2本の指でスクロールができるようになります。

⑪ Wi-Fi なしで動画を再生する方法

- ・動画を FAT または FAT32 形式で USB ドライブにダウンロードします。次の手順については、「**HDMI / USB メモリから再生する**」を参照してください。

商標



Bluetooth® のワードマークおよびロゴは Bluetooth SIG, Inc. が所有する登録商標であり、Anker Innovations Limited. は使用許諾の下でこれらのマークおよびロゴを使用しています。その他の商標および登録商標は、それぞれの所有者に帰属します。



HDMI、HDMI ロゴ、および High-Definition Multimedia Interface は、米国およびその他の国における HDMI licensing LLC の商標または登録商標です。



Dolby、Dolby Audio、Dolby Vision、およびダブル D 記号は、Dolby Laboratories Licensing Corporation の商標です。Dolby Laboratories からの実施権に基づき製造されています。未発表の機密作品。
Copyright © 1992–2024 Dolby Laboratories. All rights reserved.